

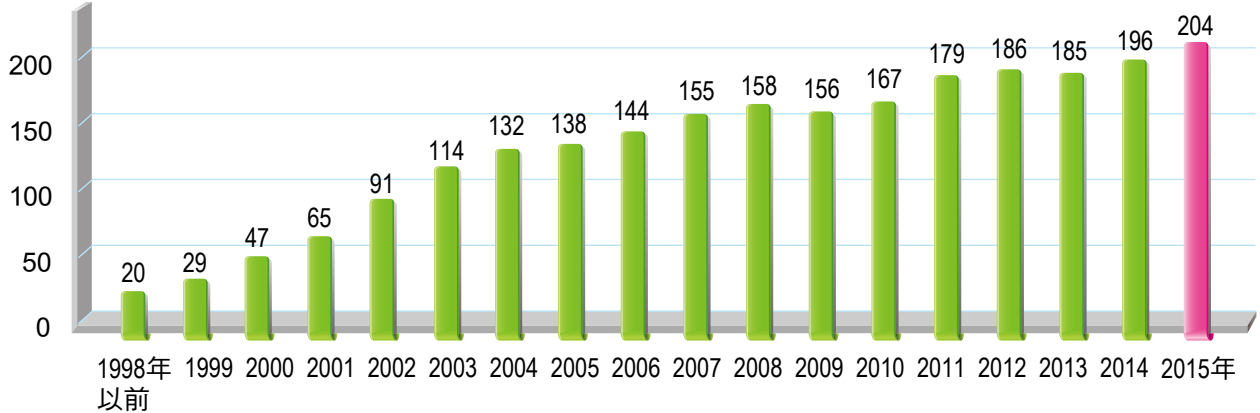


産業の発展 イノベーションの南科

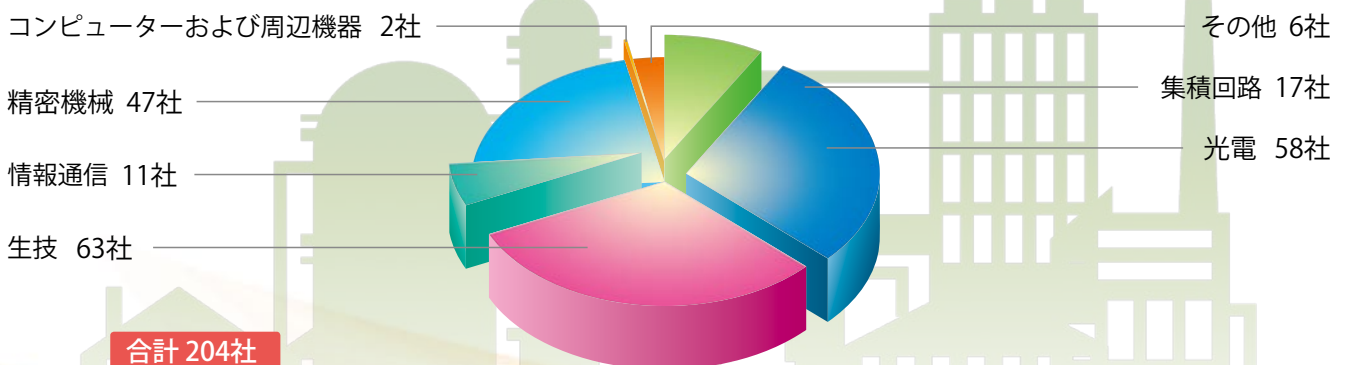
引き続き熱い投資熱

優れた投資環境を誇る南科には、近年国内外の大手企業による進出が相次いでいます。2015年には新たに20社が入居し（うち4社がベンチャー企業）、投資・増資額は約52.82億元。このうち11社が工場建設に着手し、13社はすでに量産体制に入っています。有効投資認可企業数は2015年までの累計で204社となっており、南科が投資先として依然人気の高いことがうかがえます。

単位：社



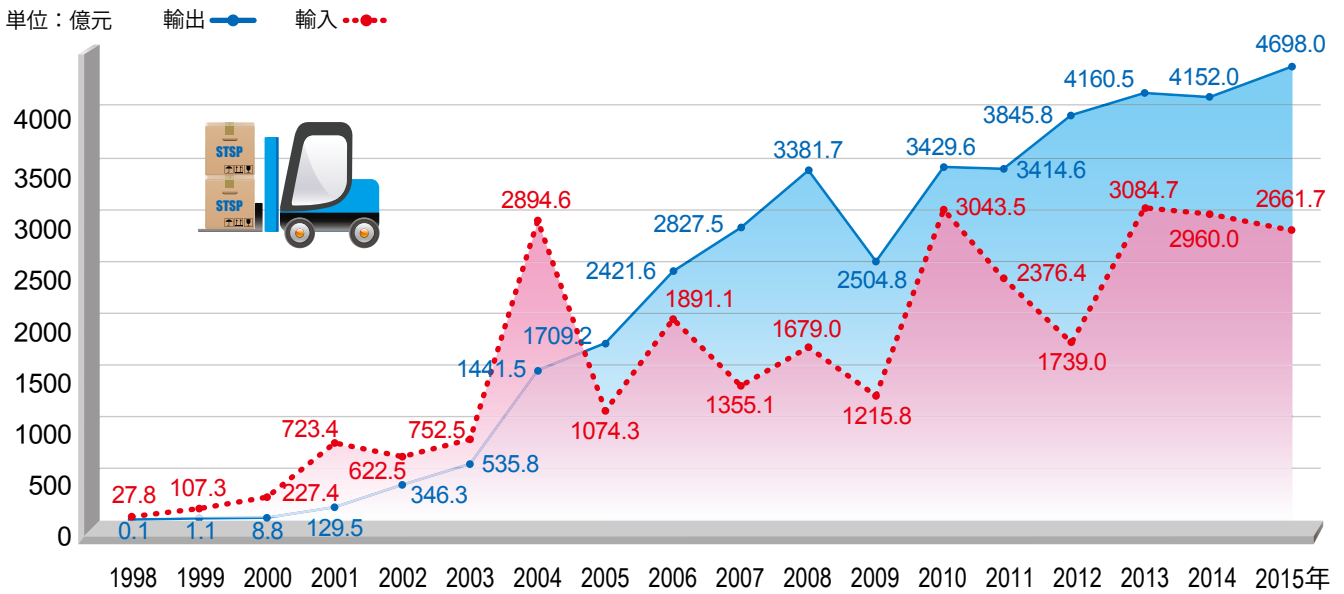
年度別累計有効認可企業数



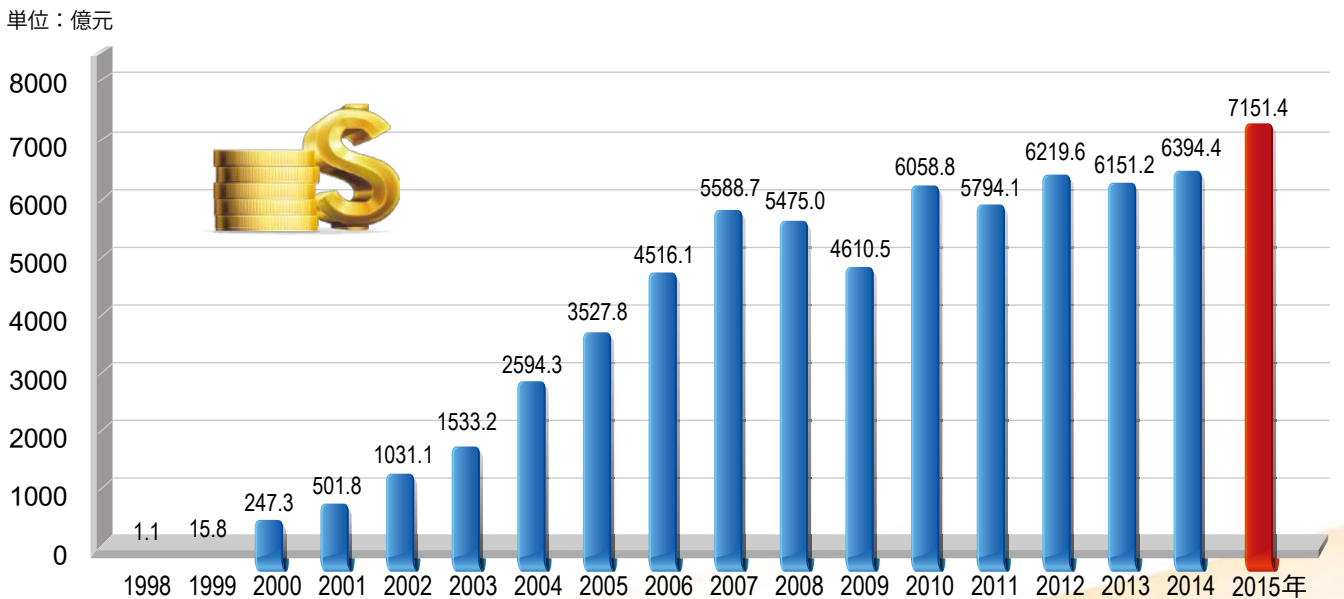
2015年末時点の産業別有効認可企業数

運営平穩 持続成長

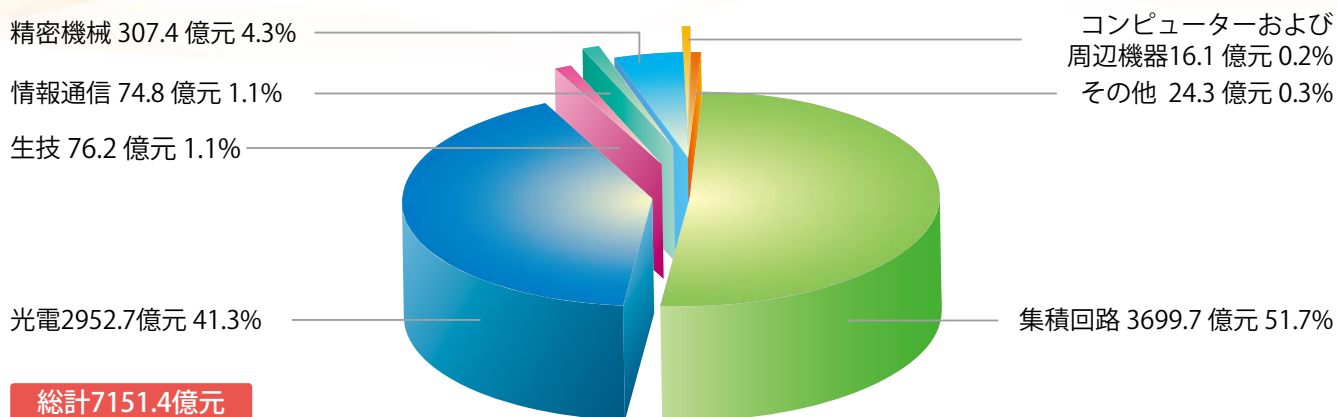
2015年の南科の売上高は7151.4億元と、2014年比で約11.8%のプラス成長を実現しました。一方、対外貿易については輸出が4698.0億元、輸入が2661.7億元で、貿易総額は7359.7億元。2014年比でプラス3.48%成長しました。



年度別輸出入額



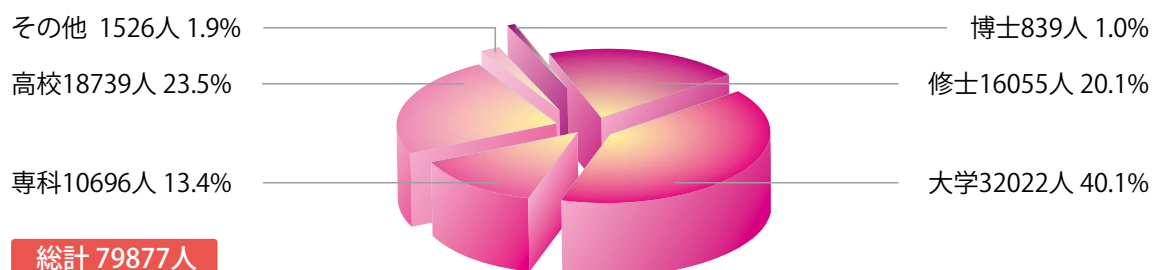
年度別売上高



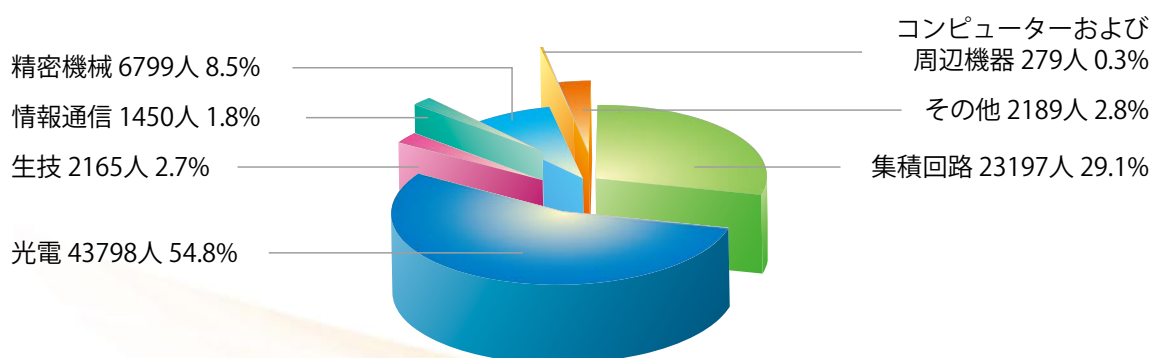
2015年産業別売上高

海納百川 人材集結

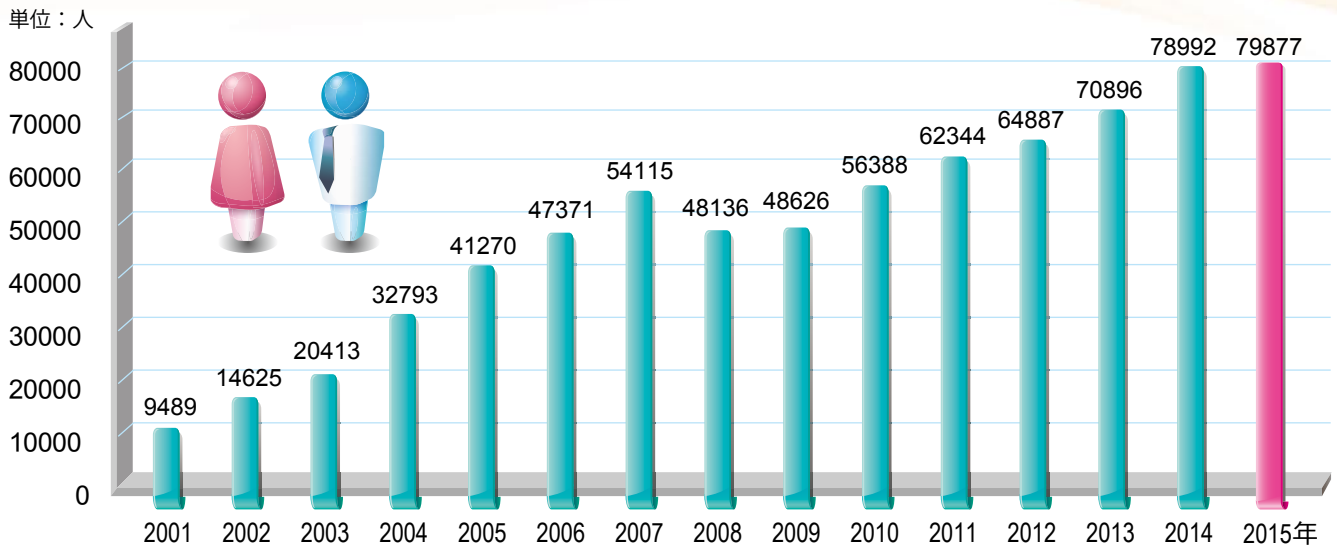
2015年末時点での南科における就業者数は昨年比1.1%、885人増となる7万9877人に達しました。南科に対する旺盛な投資を背景に、優秀な人材もまた南科を目指して、故郷のため頑張ってくつて集まってくるのです。



2015年末時点の就業者学歴分布



2015年末時点の産業別就業者数

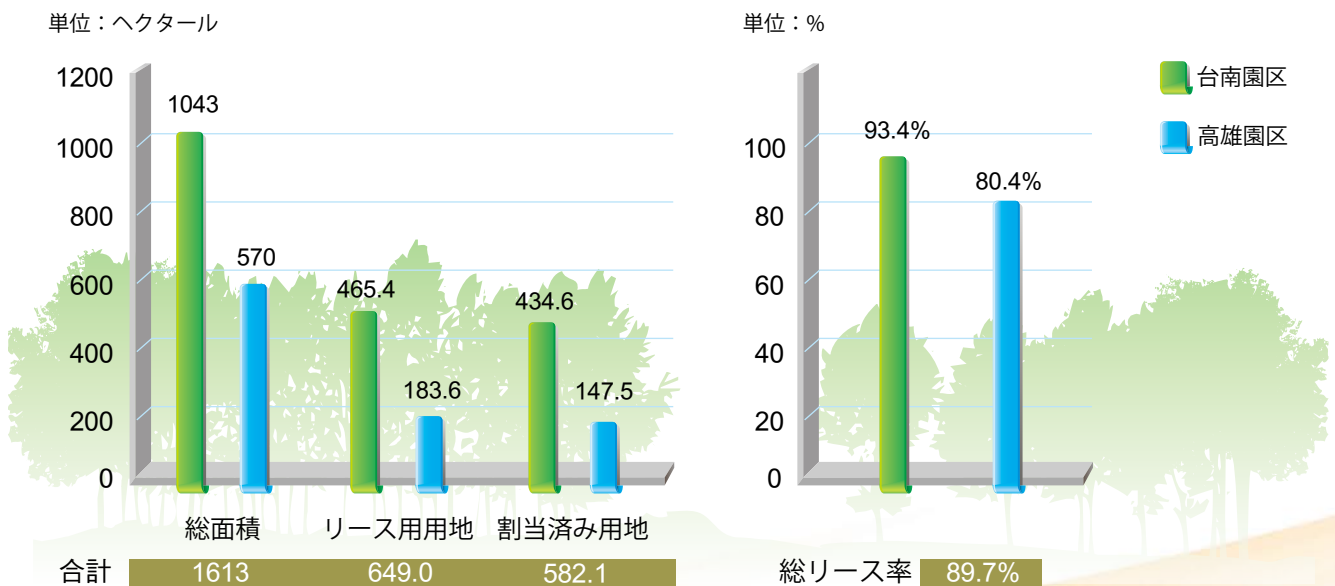


年度別就業者数

土地リース率成長続き

2015年には6社が計18.23ヘクタールの用地を、20社が計25ユニットの工場を新規にリースしました。南科のトータルな投資環境の良さが企業の信頼を得ていることが分かります。

2015年末の時点での台南園區の土地リース率は93.4%、高雄園區は80.4%で、南科全体としての土地リース率は89.7%となっています。



2015年末時点の土地リース状況